都市の学生・社会人との多様な「関わりしろ」拡大事業

区分新規	経費区分 政策的経費 要求基準		部局名	交流文化部	課名	定住3	交流課	課長名	武部	衛
事業主体	県	由攻	自 治 事	務	実行予算	事業	R2 年度	事業終了		
事業実施方法	委託、補助、直営	事務区分		│ 夢 兼 │ ■	補 助 金	開始 経	過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	補助率 1/2		法定受託	幕務 □ 刀 □	その他	年度	1 年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野 〔 まちづくり)	関連する	県の計画等〔	ことい創生	・人口減少対	计空能吸		ז	
における位置付け	政 策 〔 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略	}		宗の計画寺 し	ふくい別工	一八口减少为	1 宋书师		J	

[事業目的]

多様な分野・形で、都市で活躍する人々と地域との多様な「関わりしろ」を拡大することにより、関係人口の拡大を図る。

[事業内容]

- (1) 県外学生との「関わりしろ」拡大
 - ①「ふくいとの関わりステーション」設置

京都市内に学生と県内地域を結びつける中間支援機能を設け、県外学生等に県内地域での活動を呼びかけ、県内で活動する活動を創出する。

②県内地域の県外学生等受入支援

市町や地域団体が実施する県外学生と地域との関わりをもつ活動(交流会や地域行事の運営協力、伝統文化体験等)に対し支援する。 (補助率)県1/2、市町1/2または地域団体1/2(上限500千円) (補助対象)活動経費、宿泊費、旅費

- (2) 都市の社会人との「関わりしろ」拡大 [継続]
 - ①市町実施事業

市町が実施する都市在住の企業人材の受入整備や交通費の支援、都市人材との連携プロジェクトに対し支援する。

- (補助率) 県1/2、市町1/2(上限1,250千円)
- ②県実施事業

地域プロジェクトの発信や都市人材の募集、市町と都市人材とのマッチング支援など、全県的な取り組みを県が一元的に実施する。

[受益者] 県民		[想	見定される受益者数] 県民	₹78万人
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 都市人材による地域 (実績) 市町への補助実績 H30年度 福井市、鯖江市、美浜町、若狭町 R元年度 小浜市、南越前町		市町との連携状況	・市町への補助
[事業の評価]				
	前年度の実績	実績を踏まえた令和	2年度の変更点	

都市の学生・社会人との多様な「関わりしろ」拡大事業

区分	新規	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局名	交流文化部	ß	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	上体	県					- 75	■ 自	治 事			■ 実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	委託、補	助、直営				事 務区分			事業区分	ŀ	■ 補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	補助率 1	/2					□法	定受託		ı	□ その他	年度	1	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ē	起	債	そ 0	の他		一般財源			国	庫、その他	財源の)名称等		
予算額																		
了异识		14, 854		7, 427						7, 427	7	地方創生推進	交付金					
[予算額の推	移等]				•				·								(単位:	千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度						実績等を	と踏まえた	2年度の	変更点			
≝	首初 予 算	額の推	移			14, 854												
2 月	現計予	算額の	推移															
	決 算 額	の推移																
前年度 ままな増減 主な増減 上 に成果指標等	越理由																	
	区			30年度	令和元年度	2 年度	3年度	4 年度				目標・	指標の考え	え方・積算	根拠			
成果指標	T	・社会人の)	 人材 (目標) 実績			(50)	(50)	(5										
活動指標	実施市町	·地域団体	(目標) 実績			(10)	(10)	(1	0)									
他県の	状況								関連事:	業の有無・ 割分担		■ 無 □ 有 事 (役割分担)	≨業名					

「事業の評価」

地域おこし協力隊「ふくい元気づくり」事業

				تاح	% 03 C C I 励、	ノンド 公・	<i>ا</i> رہ	\ \	-763	×6 -	· ()]	=	P A						
区分	継続	経	基区分	政策的経費	要求基準			部	局名		交流文化部		課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業3 事業実施 補助	拖方法	直営				事務			治事		事 業区 分		補助金	事業 開始 年度	H22 経過年数 10	年度年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4	年度
福井県長期 における位		分 政	野 〔	まちづくり 人が人を呼ぶ	、移住・定住新戦略	Ç.]	艮	関連する	る県の	計画等	(ふくい創生	・人口減	少対策戦略)	
					詩産品の開発、活動 ∶により、本県にる										促進を目	指す。)		
(1)大 を と	都市圏共同	募集説明 内協力隊	会へのは	犬況や募集情報	〇千円 希望者や地域おこし を説明、応募促進を 仮・名古屋において	図る。									こしフェア) に 	冨井県協力隊	ጰ募集ブ-	-ス
(1)交流	こし協力隊 流会・研修 携事業の開	会開催	交流支持	:協力隊同:	0 千円 士の地域を越えた連 舌動市町の枠を越え									₩修会、₹	受入自治体	職員厄	句けの研修会	€を開催	

[受益者] 福井県全	体	想定される受益者数] 福井	#県全体
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 ふるさと集落元気づくり事業 (実績) 【協力隊受入れ人数(延べ)】 ・H26年度 19名 ※本事業は上記事業の地域おこし協力隊部分を平成27年度に拡充し 単独事業としたもの	市町との連携状況	・大都市圏において開催される募集フェアに市町と共同出展し、福井県での活動希望者を幅広く募集 ・県、市町、協力隊が連携し、地域イベント等で各地域をPRする福井県地域おこし協力隊ブースを出展 ・県内地域おこし協力隊が共同で企画を検討、実施

前年度の実績	実績を踏まえた令和2年度の変更点
・県内で活動する協力隊の人数 38人 (R2年2月末現在)	・京都での単独募集説明会を廃止
・募集説明会への相談者数 34人 (R2年2月末現在)	・大阪での単独募集説明会を2回に増加

地域おこし協力隊「ふくい元気づくり」事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部原	司名	交	· 流文化部	ß	課名	定	住交流課		課長名	武部	『衛
事業主	体	県	·						自治	台 事	務		•	■ 実行予算	事業	H22	年度	事業終了		
事業実施	方法	直営					事務区分					事 業 区 分	=] 補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助基	率	_					- 7		法 定	受託事	務			こその他	年度	10	年	度)		
区分	事		国庫	Ē	起	債	そ(の他			一般財	才源			国厂	庫、その他	財源σ)名称等		
予算額		2, 070										2, 070								
[予算額の推	移等]	-	•						İ										(単位:	千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度								実績等を	を踏まえた	2年度の	変更点			
当	初予算	額の推	移	2, 611	2, 068	2, 070														
2 月	現計予	算額の	推移	14, 370	2, 068									集説明会を廃 集説明会を10		5.增加				
	決 算 額	の推移		13, 505						7 (1)2	(0)	471 /K — 32	4-23-	7KW712 C 1	1 <i>0</i> 52 <u>—</u> 1					
	・ふるさと回帰フェア(東京・大阪)への出展廃止(R01〜) ・現地見学バスツア一廃止(R01〜) ・県単独説明会を東京、大阪の他、名古屋、京都でも開催(R01)																			
[成果指標等				0.0左座	∆ 50 = 5 m	0.左座	0.左座	4 /=	- d=						七冊の本	二十	+H +hn			
	区	分			令和元年度	2年度	3年度	4年								え方・積算	- 依拠			
成果指標	協力隊定住	三率(%)	(目標) 実績	(62. 6) 61. 6	(62. 6) 66. 7	(62. 6)	(62. 6)		(63)					る定住率(総 県内定住した			・任期を	- 終了した地域	或おこし!	岛力隊
活動指標	福井県ブー 数	-スへの相詞	談者 (目標) 実績	(140) 100	(160) 69	(160)	(160)	((160)			票:全国フ 引末時点	フェ	ア100人(J(OIN),	県単独(各回10.	人)		
他県の料	状況	・富山県 ・石川県 【全国の協 ・H25 ・H26 ・H27 ・H28	(北陸)の協力 4 60名 4 62名 3力隊受入人数 978名 1,511名 2,625名 3,978名	(、受入自) 318団体 144団体 373団体 186団体 197団体		手度特交べ	ス)]		Į.	関連事業 役害	業の有 側分担		(■ 有 項	の募集や 着支援事	くい元気で 現役隊員 <i>の</i> 業では、日	がくり」)定住、 E期を満	交流を支援で	各市町の ^は する。地域	域お

地域おこし協力隊定着支援事業

区分	継続	経費	区分	政策	货的 経費		要求基準				部局名		交流文化	七部		課名		定住交流記	 果	課長名	武音	了衛
事業主体	本	県						± 74		自自	治	事	務	_		実行予算	事業	H30	年度	事業終了		
事業実施力	方法	直営						事務区分					事業区分	€ }		補助金		経過年	数	予定年度 (見直し年	R2	年度
補助率		_						- "		法	定受記	壬事 衤				その他	年度	3	年			
福井県長期ビ		分	野〔		まちづくり)		関連で	トる県	の計画等		ز]	、くい創	生・人口》	並少対策 単	比略		٦	
における位置	重付け	政	策〔	ر ا	<u>しが人を呼</u>	ぶ、移位	主・定住新戦闘	各)		12122	071	COVERING OF			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		77 7 T T T				
[事業目的]																						
 農山村地域	は等におい	て地域	活動の	IJ—	ダーとし	て活動	を行う地域	おこし協	力隊	が、	3年	間の化	任期終了	後(こおし	いても、	地域に	定着し、	活動を	継続して実	施するこ	ことを
支援すること													////	1241				С.Д.С.	· -	111111	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
 [事業内容]																						
[尹未內合]																						
地域おこし																に、定	住に必要	となる居	住準備	経費や活動網	圣費とし [・]	τ,
一時金を支持																						
(1)対象者	給する。 地域おこし協力隊OB、OG(4年目以降)																					
(2)支援額	1, 000千円/人(協力隊活動市町で居住する場合)																					
 [受益者] 褚											[相中-	r do Z	受益者数	1	岩井 ほ	 具全体						
		- /									じ思正の	いる)]	11日 オリ	(王)体						
		■無	+ **	¥ <i>I</i> 7																		
		有	事業	美名																		
前事業の有無		(実績)										市町	との連携物	犬況						等において講館	師を務め、	
11.4.26.01.11	, X1X											.,	2 07 (2)31	, , , , ,		次世代	の協力隊の)育成を図	46			
[事業の評価]																						
		前年度	の実績					実績を踏	沓まえ	た令	和2年	度の変	変更点									
・任期終了後も	定住し地域	はおこし だ	活動を継	続実施	をする協力	隊 4:	名															

地域おこし協力隊定着支援事業

区分	継続	経費[区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局名	3	交流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	E体	県							自 治	事 務			実行予算	事業	H30	年度	事業終了		
事業実施	方法	直営					事 務区分			- 1	事業区分		補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R2	年度
補助	率	_							法定受言	託事務			その他	年度	3	年	度)		
区分	事	業費	国国	Į.	起	債	そ(の他		一般	 け源			国原	車、その他	財源の	名称等		
予算額		4, 000									4, 000								
[予算額の推	移等]																	(単位:	千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2年度							実績等を	踏まえた	2年度の	変更点			
当	初 予 算	額の推	移	4, 500	4, 000	4, 000													
2 月	現計 予	算額の	推移	6, 000	5, 000														
	決 算 額	の推移		6, 000															
前年度ま主な増減	越理由																		
[成果指標等	区	分		2 0 年度	令和元年度	2 年度	3 年度	4.4	F度				日煙。	指標の考え	5 方 .	1. 相如			
	T			(4)				4 4	(4)				日保	担保の方/	6.刀 竹 月	化炒			
成果指標		用して定着し 3、OGの人	类	l .		(4)	(4)		(4)										
		品力隊OB、		(12)	_	(12)	(12)		(10)										
活動指標					\ \ \ Z /	\ Z /	(12)		(12)										į
		也域活動イク ጷ	ジン ^{・ローほク} 実績	12		(/			(12)	隊員時の え	舌動を活か	した	イベントや	、現役協力	力隊向け研	#修会な	どを1人につ	き3回実施	

ふるさと貢献促進事業

区分	継続		経費区	分	政策的経費		要求基準			÷	部局名	3	3	交流文化部		課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主 事業実施 補助	拖方法	直営	<u>†</u>					事務	•	自法	治定受		務務	事業区分			事業 開始 年度	H20 経過年数 13	年度 【 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2	年度
福井県長期における位		分 政		-	まちづく 人が人を	•	移住・定住新戦	略]		関連	するタ	県の	計画等	(ふくい創生	・人口減	少対策戦闘	各)	
[事業目的] 新規寄付	者の掘り	起こり	」を積 権	極的に	:行うとと:	もに、	ふるさと福井	と寄付者	の結	びつ	きを	深め	る耳	取組みを	強化	:すること	で、継続	する寄作	す者の:	増加を図る	0	

[事業内容]

<寄付の働きかけの強化・拡大>

- ①全国の潜在的な寄付者の掘り起し
 - ・県アンテナショップと連結して寄付および来館者の拡大および制度理解促進を図る。
- ②使途の明確化
 - ・使い道と寄付のお礼を紐づけ、使途の見える化を図る。

<寄付者のネットワークづくり>

- ・恐竜博物館観覧券や福井県ふるさとパスポートを発行することにより福井県への来県を促進する。
- ・定期的に寄付者へおたよりを送付して福井県の情報を発信する。
- ・寄付のお礼として、県ブランド品と交流体験を提供する仕組みを構築する。

[受益者] 県民	[想定される受益者数] 県民78万人
■ 無 □ 有 事業名 (実績)	市町との連携状況・県人会や広報活動の際、市町と連携して寄付の働きかけを実施
「車業の証価」	

[事業の評価] 前年度の実績 実績を踏まえた令和2年度の変更点 R1年度: 寄付金額74,582千円(R1.12末時点) 寄付件数 2,043人(R1.12末時点) ・寄付の活用報告を強化し、寄付者の想いが形になっていることを示すことにより、継続的な寄付につなげる

ふるさと貢献促進事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部原	哥名	交流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	E体	県							自治	台 事		•	実行予算	事業	H20	年度			
事業実施	方法	直営					事務区分				事業区分		補 助 金	開始	┃ 経過年数	ţ	予定年度 (見直し年	R2	年度
補助	率	_							法定	受託事			その他	年度	13	年	度)		
区分	事	 	国庫	Ē	起	債	そ(の他		_	般財源			国月	車、その作	也財源σ	2名称等		
予算額		38, 502					(入)	2	9, 420		9, 082	基	基金繰入金						
[予算額の推	:移等]																	(単位:	千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度							実績等を	踏まえた	2年度の	変更点			
当	i初予算	額の推	移	19, 830	15, 917	38, 502													
2 月	現計予	算額の	推移	17, 955	56, 536					・大学応	援寄付の基金	積立	江のために歳	出予算要	求				
	決 算 額	の推移		11, 893															
前年度ま 主な増減 - - - - - - - - - - - - - - - - - -	找理由	H30~ 1	後寄付金各高校 使途に恐竜博特 ○度 長野災害	物館魅力向	上プロジェ			補正に	こおいて	て計上									
200011111111	区			30年度	令和元年度	2 年度	3年度	4 1	丰度				目標・	指標の考え	え方・積算	算根拠			
成果指標	寄付金額		(目標) 実績	(6, 000)	(6, 600)	(7, 000)			, 000)	令和元	年12月末時点	į							
活動指標	PR延べ丿	人数	(目標)	(10, 000) 9, 171			(10, 000)	(10	, 000)	令和元	:年12月末時点	į							
他県の	状況	・平成30年	₹度ふるさと糾	税寄付額者	那道府県順(立 福井	県 19位		Į.	関連事業 役割			無 有 事 役割分担)	≩業名					

ふるさと納税を活用した交流人口拡大プロジェクト

区分 継続	経費区分	政策的経費	要求基準			部局名	交流文	化部	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主体	県		•	÷ 75		自 治 事	務	Alle.	■ 実行予算	事業	元	年度	事業終了		
事業実施方法	直営			事務区分			事区	業	口補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R3	年度
補助率	_					法定受託事		<i>,</i> ,	口 その他	年度	2	年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 〔 政 策 〔		ぶ、移住・定住新戦略)]	関連する	県の計画等	等	〔 ふくい創生	・人口減	少対策戦略	i)	
				<u> </u>											
北陸新幹線福井・ と納税において、県 ら、寄付のお礼とし 納税ツーリズム」を	では「モノ」で て、恐竜博物館	はなく「体験 の観覧券やい	交流型」に重点を聞 ちほまれの栽培体駅	置くことに	より	丿、寄付者。	この継続	的な交	流や福井フ	ァンの拡	大を目指	iしてi	おり、平成	3 0 年度	きか
[事業内容]															
ふるさと納税ツー 県にふるさと納 基準を満たした お礼の 実施体	脱をした人を対 ツアーをお礼 内容 : (大容 : (大 : (大 : ()	象とした着地 して提供し、 ログラムや地 井 県)着 代理店等)着 8月)事代 ~) 寄付募	型ツアーや体験プロ 来県を促進する 元の方との交流が関 地型ツアーの公募、 地型ツアーの企画、 公募・選定	図られる着 寄付の募 参加者と	地型 集 の道	ピツアー				て造成し					
[受益者]						[想定され	る受益者数	汝]							
前事業の有無・実績	□ 無 □ 有 事業 (実績)	業名				市	町との連携	影状況	_						
[事業の評価]															
	前年度の実績			実績を踏ま	ミえた	-令和2年度(の変更点								
・旅行事業者4者を認定	し、寄付募集を開	勃始(10月~)	・スケジ <u>-</u> 可能とする		りしに	こより、多様7	な旅行商品	の提案	<u>ਣ</u>						

ふるさと納税を活用した交流人口拡大プロジェクト

区分	継続	経費	区分 政策	헌的 経費	要求	基準	0		部原	局名	交流文化部	ß	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	E体	県							自治	台 事			実行予算	事業	元	年度	事業終了		
事業実施	拉方法	直営					事 務区分				事業区分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R3	年度
補助	率	_							法 定	受託事			その他	年度	2	年	度)		
区分	事	 業費	国师	Į.	起	債	そ(の他		_	·般財源			国月	車、その他則	材源の	名称等		
予算額		10, 800					(寄)	3	6, 000		△ 25 200) 3	ふるさと納税	客付金					
[予算額の推	 :移等]	10,000	1				(L)/		,				7 0 C C 417170	-, , ,				(単位:	千円)
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2 年度							実績等を	と踏まえた	: 2 年度の変	更点		(+	113/
当	前 初 予 算	額の推	 移		10, 800	10, 800			Ī										
2 月	現計 予	算額の	 推 移		5, 000		1												
		の推移			, 220		+												
	77 71 100	1 12 12																	
前年度ま 主な増減																			
[成果指標等	の推移]																		
	区	分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4 🕏	丰度				目標・	指標の考え	え方・積算権	拫拠			
成果指標	 寄付受入客	須 (千円)	(目標)		(36, 000)	(36, 000)	(36, 000)	(36	, 000)										
/X/X/10/X	11,77	IR (1117	実績		1, 140														
活動指標	 交流人口排	広大人数(ノ	人) (目標)		(600)	(540)	(540)		(540)										
71 33 11 13	Z // L / Z / Z		実績		9														
他県の	状況	・平成30年	∈度ふるさと紛	枘税寄付額者	邻道府県順(立 福井	·県 19位		E!	関連事業 役割				፮業名					

ふるさと納税寄付金積立・交付金

区分継続	経費区分	政策的経費	要求基準			部局名	交流文化部	ß	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主体	県			古 攻		自 治 事	務	■実	行予算	事業	H20	年度	事業終了		
事業実施方法	直営			事務区分			事業区分	□補	助 金		経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R2	年度
補助率	_					法定受託	事務 一 7	□ そ	の他	年度	13	年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野	[まちづくり))	関連する	県の計画等	1 (3.4	(八創4	= 人口減	少対策戦闘	各		١	
における位置付け	政 策	〔 人が人を呼ん	ぶ、移住・定住新戦略)]	NÆ, d	, Keynia (1 3.	. • 1011	_	<i>></i> / / / /	н			
[事業目的]															
新規寄付者の掘り	起こしや継続的	りな寄付をいた	だくことによりふる	るさと納税	の受	そけ入れ額(の増加を図る	0							
[事業内容]															
(2)福井県への寄 ふるさと母校 (3)県内市町への	ただいたふるさ 付金 応援寄付および 寄付金	が大学応援寄付 。	の受け入れのため(、高校生海外長期間 町への寄付金を該き	留学寄付と	して	受け入れた	と寄付金を地	域振興基	基金へ	積立てる) ₀				
[受益者] 県民						[想定され	ん受益者数]	県民787	人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事 (実績)	業名				市	町との連携状況	₹ • ਜ	⋾町と連	重携して寄	付の働きた	いけを身	実施		
[事業の評価]						,									
	前年度の実績	Ę		実績を踏ま	ミえた	令和2年度	の変更点								

ふるさと納税寄付金積立・交付金

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局名	í	交流文化部	iß.	調	果名	5	官住交流	課		課長名	武部	衛
事業主	E体	県					± 26		自 治	事 務		•	■ 実行	予算	事業	H2	0	年度	事業終了		
事業実施	古方法	直営					事 務区分				事 業区 分] 補」	助金	開始	経過4	丰数		予定年度 (見直し年	R2	年度
補助	率	_							去定受	託事務] そ	の他	年度	13	3	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Į.	起	債	そ(の他		一般	財源				国	庫、そ	の他見	財源の	名称等		
予算額																					
了开识		51, 442					(寄)	46,	411		5, 03	1	ふるさ	と納税	寄付金						
[予算額の推	移等]																			(単位:	千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度							美	₹績等を	を踏まえる	こ2年度	の変	更点			
놸	前初 予 算	額の推	移	0	25, 812	51, 442															
2 月	現計 予	算額の	推移	30, 923	65, 372				• ह	高校生海	· 外長期留字	学寄	付の基	金繰出	金を新た	に計上					
	決 算 額	の推移		30, 923																	
前年度ま 主な増減 上 に成果指標等	越理由																				
[]从木田惊节	区	分		30年度	令和元年度	2 年度	3年度	4年	由					日堙。	指標の考	っ七・	佳質 t	HB +bn			
		/)	(5.17)	(6,000)	(6,600)	(7,000)	(7,000)	(7, 0						口际	担保の名	~/」・	限 另 1	区灰			
成果指標	寄付金額	(万円)	(目標)	6, 889		(1,000)	(7,000)	(7, 0	300)												
			実績	0,000	7, 100																
活動指標			(目標) 実績																		
他県の	状況	・平成30年	∈度ふるさと納	可税寄付額 者	邵道府県順位	———— 拉 福井	県 19位			≣事業の 役割分		-	■ 無 〕 有 役割分		事業名						

ふるさと納税による新事業創出支援事業

												• •						
区分	継続	経	費区分	政策的経費	要求基準			部局	名	交流文	化部	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主 事業実施 補助:	方法	県 補助 定額補	前(10/1	0)		事務区分	■ □	自治法定受		務 事 区 :	分 ■	実行予算 補 助 金 そ の 他	事業開始年度	H30 経過年数 3	年度年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2	年度
福井県長期における位		分 政	野 〔	まちづくり 人が人を呼ぶ	ぶ、移住・定住新戦略	,]	関連	重する県	・ 見の計画等	[ふくい創生	・人口減	· 少対策戦略	ζ)	
					ラウドファンディン 業の活性化を図る。		で全国	国からえ	ふるさ	と納税る	集め、	県内事業	者の創業	、新商品	開発	、販路開拓	などの親	折たな
①寄付募	おける役割 募集・支援: ・P R:福:				り起こし:福井銀行 コ:ポータルサイト													

○事業の流れ

- (1) 福井新聞社が支援事業を紙面でPR
- (2) 福井銀行が寄付を受けたい事業者を掘り起こし、県に推薦
- (3) 県が審査し、支援する案件を認定、寄付募集サイトへ掲載
- (4) 目標額を達成した案件分のみ、サイト事業者から県へ寄付金納付
- (5) 県が寄付金に一部県費を上乗せ(起業枠) して事業者に支援奨励金交付
- (6) 福井新聞社が事業実施事例を紙面でPR
- (7) 進捗報告会を開催(寄付者にも案内)

[受益者] 県内で事業を行おうとする事業者等	[想定される受益者数] 10者程度
■ 無 □ 有 事業名 (実績)	市町との連携状況 —
「事業の評価」	

ふるさと納税による新事業創出支援事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部)	局名	交流文化部	FIS.	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	主体	県							自	治事	務		実行予算	事業	H30	年度			
事業実施	· 拖方法	補助					事務区分				事業区分	•	補助金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R2	年度
補助	率	定額補助	(10/10)						法 定	受託事	務		その他	年度	3	年	度)		
区分	事	 業費	国原	Į.	起	債	そ	の他		_	-般財源			国儿	- 車、その他	b財源σ)名称等		
予算額		20, 630					(寄)	2	20, 000		63	0 ,	ふるさと納税	寄付金					
[予算額の推	移等]																	(単位:	千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度							実績等を	と踏まえた	2年度の	変更点			
当	首初 予 算	額の推	移	6, 000	10, 630	20, 630													
2 月	現 計 予	算額の	推 移	6, 108	11, 689					・支援目	目標件数を20個	牛に作	倍増						
	決 算 額	の推移		6, 107															
前年度ま 主な増減	或理由	・令和元年	度 1件あた	りの寄付目	標額を1,00	00千円に設	定												
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度	3年度	4 :	年度				目標・	指標の考え	え方・積算	 草根拠			
成果指標	支援対象例		(目標)	(40)	(10)	(10)	(10)		(10)	支援対	対象案件10億	#							
活動指標			(目標) 実績																
他県の	状況								ļ	関連事業 役割	の有無・ 分担	0	無 有 引 役割分担)	≨業名					

ふるさと福井移住定住促進機構運営事業

区分 拡き	経費区分	政策的経費	要求基準			部局名	交流文化部	部	課名	定	住交流課		課長名	武部	『衛
事業主体 事業実施方法	県 委託、直営			事 務区分		自 治 事	務 事業 区分		実行予算補助金	事業 開始 年度	H27 経過年数	年度	事業終了 予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	_					法定受託事	務		その他	+ 皮	6	年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 政 策	〔 まちづくり 〔 人が人を呼ぶ	ぶ、移住・定住新戦略))	関連する	県の計画等	(ふくい創生	・人口減	少対策戦略	各		J	

[事業目的]

県外に進学した本県出身学生や、社会人等のU・Iターンを促進するため、『ふるさと福井移住定促進機構(福井Uターンセンター)』を設置。福井、東京、大 阪、名古屋オフィスに加え、京都にも新オフィスを設置し、県内求人情報や就職関連情報、移住に係る情報の発信拠点および相談機関、ふくいかかわり方案内所とし て、UIターン希望者、学生、関係人口希望者に対する支援を行う。

[事業内容]

- ① ふるさと福井移住定住促進機構(福井Uターンセンター)の運営
 - ア 福井に職業カウンセラー2名、移住相談員2名
 - イ 東京にUIターンアドバイザー1名、移住相談員1名、大阪にUIターンアドバイザー1名を配置
- 倒ウ 京都オフィスの設置(民間事業者への委託)
 - エ 名古屋オフィスの設置(民間事業者への委託)
 - オ 求人情報、求職者情報の提供、県内就職関連情報の提供、求人、求職者に対する職業相談、無料職業紹介の実施等
 - カ 県内企業の求人開拓、移住希望者の現地案内、移住者交流会の開催
- ② 移住促進情報発信関連事業
 - ア 移住ガイドブック等を活用した情報発信
 - イ 県外での移住セミナー、県内相談会等の開催

[受益者]	[7	想定される受益者数]	
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 福井県ふるさと帰住センター運営事業 (実績) ・ Uターン就職センター(福井)に職業カウンセラー2名、東京・大阪オフィスにUターンアドバイザーを各1名計2名配置、民間事業者への委託により名古屋オフィスを設置し、U・Iターン希望者に求人情報、求職者情報の提供や相談対応、無料職業紹介などを実施		・市町の移住定住支援員と連携した情報収集・発信、移住希望者 のフォロー
[· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· ·	

[事業の評価]

前年度の実績	実績を踏まえた令和2年度の変更点
・福井、東京、大阪、名古屋の各オフィスでU・Iターン就職のための情報提供、相談対応、職業紹介事業の実施、県内外でのセミナー・相談会の開催、全国的な移住フェア等への出展等により、目標を上回る成果が得られた。 (新ふくい人の数) 平成30年度 719人 令和元年度 286人(元年7月末時点)	・新たに京都オフィスを設置

ふるさと福井移住定住促進機構運営事業

区分	拡充	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局名	交流文	文化部		誀	名	ri l	住交流課		課長名	武音	17衛
事業主	E体	県					± 7/7	■ É	治 事		2116		実行	予算	事業	H27	年度			
事業実施	方法	委託、直	営				事務区分			事区	業 分		補」	助金	開始	経過年数	τ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_						口法	定受託		, ,		そ (の他	年度	6	年	度)		
区分	事業	美費	国庫	Ī	起	債	その	D他		一般財源					国	庫、その作	边財源σ)名称等		
予算額		37, 373		18, 686						18	8, 687	坦	也方創:	生推進	É交付金					
[予算額の推	移等]																		(単位:	: 千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2年度							実	績等る	を踏まえた	と2年度の	変更点			
当	前初 予 算	額の推	移	60, 172	47, 178	37, 373														
2 月	現計予	算額の	推移	60, 172	47, 178					に京都オ :人件費を語)						
	決算額	の推移		59, 138					(3)-311	, , , , ,	.,	11	~~~							
主な増減 		・令和元年	∈度は雑誌等へ	・の広告掲載	戏、北陸3県	移住セミナ	ナー廃止に。	より減 												
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	4年	支					目標・	指標の考	え方・積算	草根拠			
成果指標	新ふくい人	.招致数	(目標) 実績	(700) 719	(750) 681	(800)	(900)	(1, 0	70, 1	い創生・力					PI					
活動指標	利用者数		(目標)	(24, 000) 37, 894	(30, 000) 25, 139	(35, 000)	(35, 000)	(38, 0	00) 令和	元年度の写	実績は	1月:	末現在							
他県の	状況	- 46都道府	于県が都市圏に	UIターン0)相談窓口で	を設置			令和元年度の実績は1月末現在 □ 無 ■ 有 事業名 市町移住施策レベルアップ支援事業 (役割分担) ・U・Iターン希望者向けに県内外での常設相談窓口の設置・運および県全体として対外的に打ち出す事業を実施。市町それぞ 固有の事情により取り組むものについては市町への補助金で対											ぞれ

UIターン移住就職等支援事業

区分 拡充	経費区分	政策的経費	要求基準		部局名	交流文化部	ß	課名	定	住交流課		課長名	武部	『衛
事業主体	県、市町			± 7/1	■自治	務		実行予算	事業	R1	年度	事業終了		
事業実施方法	補助、委託			事 務 区 分		事 兼 区分	•	補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R5	年度
補助率	3/4, 1/2				□ 法定受訊	事務		その他	年度	2	年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野	[まちづくり)	即油寸	る県の計画等	l ,	ふくい創生	. J口油	小分类形成	Ż.		ו	
における位置付け	政 策	〔 人が人を呼ん	ぶ、移住・定住新戦略)		る朱の計画寺		かくい 削工	- 八口顺	少刈束栽啃	ī		J	

[事業目的]

移住に係る初期費用の支援を行い移住者の経済負担を軽減するとともに、就職に係るポータルマッチングサイトを運営し、求職者と求人企業のマッチングを強化することで、福井への移住を促進する。

[事業内容]

- (1) 県内に移住し、就業や就業を目的とした長期研修をする者を対象に移住支援金を支給
 - ①国交付金型

対象:県内で就業する東京圏からの移住者 支援金(定額):世帯100万円、単身60万円

②就業·起業型

対象:県内で就業・起業する移住者 支援金(上限):世帯50万円、単身30万円

(2) マッチングサイト「働くなら、福井!」の運用・保守

R元年度に学生向け「働くなら、福井!」と社会人向け「ふくいUターン就職ネット」を統合する。

サイトに掲載する企業・求人情報に画像や動画を導入するなど県内企業の魅力発信、利用者と企業のマッチング機能を強化する。

[受益者] 伝統工芸、	地場産業従事者	[想知	定される受益者数]	
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)		市町との連携状況	移住支援金の支給 ①国交付金型 県:支援金の3/4を市町に支給(国1/2,県1/4) 市町:支援金の1/4を加えて対象者に支給 ②就業・起業型 県:支援金の1/2を市町に支給 市町:支援金の1/2を加えて対象者に支給
[事業の評価]		•		

前年度の実績	実績を踏まえた令和2年度の変更点
	対象者を東京圏から全国に拡大

UIターン移住就職等支援事業

区分	拡充	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局	高名	交流文化	部	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	E体	県、市町	Г				76-		自 治	台 事			■ 実行予算	事業	R1	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	補助、委	託				事務区分				事業区分	ı	■ 補助金	開始	経過年数	t	予定年度 (見直し年	R5	年度
補助	率	3/4, 1/2					- 7		法定	受託事		ı	□ その他	年度	2	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ī	起	債	そ(の他		-	一般財源			国	庫、その個	也財源σ)名称等		
予算額		31, 652		13, 926							17 79	26	地方創生推進	∵交付全					
	 移等]	01, 002	·	10, 320	I						17, 72		2077月11日					(単位:	千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度							実績等る	を踏まえた	2 年度の	変更点		(+12.	1137
<u> </u>	————	額の推	 移		84, 984	31, 652													
2 月	現計予	算額の	推移		15, 984		1						型(東京圏)に					の設定をす	可能に
•					, ,					9 0 (2)	战 耒『	を制	所設し、多様な	人材の倫	廾への移1	土を文括	友		
主な増減	決算額の推移 前年度までの 主な増減理由 [成果指標等の推移]																		
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度	3年度	4年	度				目標・	指標の考	え方・積算	草根拠			
成果指標	新ふくいん	人招致数	(目標)	(700) 719	(750) 681	(800)	(900)	(1,	000)		い創生・人口 元年度の実績		>対策戦略のKF 2月末現在	PI					
活動指標	移住支援金	金の支給件数	数 ^(目標) 実績		(100)	(180)	(180)	((180)	令和	元年度の実績								
他県の	状況	・移住支援	爱金(国交付金	₹型)の支糸	合は全国で	実績がほと	んどない。		Ŗ		美の有無・ 引分担	1	■ 無 □ 有 ○ (役割分担)	事業名					

UIターン人材開拓事業

区分	拡充	経	費区分	į	政策的経費	要	求基準			部局名		交流文化部		課名	定	住交流課		課長名	武部	『衛
事業主体		県						市 7 左		自 治 事	務	+ **		実行予算	事業	元	年度	事業終了		
事業実施方法		委託、	直営					事務区分				争 耒 区 分		補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率		_								法定受託	阝務	— //		その他	年度	2	年	度)		
福井県長期ビジョ	ン	分	野	[まちづくり)	関連する	国の	計画生	١	ふくい創生	. J 口油.	小分类形成	ζ		1	
における位置付	け	政	策	[人が人を呼る	、移住	• 定住新戦略	ì)		ホツ	可圖寺	٠	ふくい別工	- 人口版:	シ刈束判断	ī .		ر	

[事業目的]

東京・大阪・福井(名古屋)で人材開拓活動を展開。企業、関係団体等の訪問や移住希望者のスカウトを行うインターンネットサービスの活用などにより、IT・製造・クリエイティブ人材等の 新たな移住者層の開拓を行う。

また、Uターン者に加え、都市圏からIターン者を呼び込むために、福井での生活経験がないIターン者層に向けて、福井暮らしについて具体的にイメージしてもらい、移住後の定着支援体制を 充実することが重要である。このため、地域で体験活動を行う団体を対象に、市町と協力して研修会を行い、Iターン希望者や関係人口希望者層に向けに「お試し移住プラン」を推進するなど、 受入体制を強化するとともに都市圏で地域団体やIターン移住者と相談・マッチングを行うフェアや、人材開拓員による福井の暮らしを発信するセミナー・交流会を開催し、Iターン希望者や関 係人口希望者層を開拓する。

[事業内容]

- 炒(1)人材開拓員の配置(東京⋯継続、大阪⋯新たに配置【委託】、福井⋯継続)
 - (1)企業・関係団体等や、他団体主催のイベントなどを訪問し、ITや製造業分野などの新たな移住者層の人材を開拓する。
 - (2) インターネットサービス(移住スカウトサービス「SMOUT」等)を活用した開拓 「SMOUT」…都市圏の移住希望者(クリエイティブ人材)と地域のプロジェクト(求人等)をサイト上で結びつける。 サービス。地域に合う人材を直接スカウト可能
- ②地域団体の受入・定着支援体制を強化【ゼロ予算】

地域団体を対象として、市町とともに研修会を嶺北・嶺南1回ずつ開催し、Iターン者の気軽な移住体験を促進する「お試し移住プラン」を作成・推進するなど、Iターン者の受入体制を強 化する。

- ③都市圏での相談・マッチング事業
 - (1)「ふくい移住・かかわり方フェア」を開催する。

	こよる「ターン希望者を開拓する。			
[受益者]			[定される受益者数]	
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 社会人U・Iターン就 (実績) H29年度移住・就職フェア参加者数(東京134 H30年度出展ブース数50		市町との連携状況	・サポート団体にもメンバーとして参画 ・フェア等にも市町ブースとして参加する
[事業の評価]				
	前年度の実績	実績を踏まえた令和	2年度の変更点	
・県外企業・関係団等営	営業 72団体 9月末現在	・人材開拓員を東京に加え大阪	こ新たに設置	

UIターン人材開拓事業

区分	拡充	経費区分	政策	的経費	要求	基準	0		部局名	交流文化部	課名	定住交流認	₽ F	課長名	武部	衛
事業主	E体	県					± 7/4		自 治 事		■ 実行予算	事業	年度			
事業実施	地方法	委託、直営					事 務区分			事業区分	口補助金	開始経過年	数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_						□ <i>;</i>	去定受託	事務	□ その他	年度 2	年	度)		
区分	事美	美費	国庫	Į.	起	債	そ(の他		一般財源		国庫、その	他財源σ	D名称等		
予算額		16, 770		8, 385						8, 385	地方創生推進	交付金				
[予算額の推	移等]														(単位:	千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2年度					実績等	を踏まえた2年度の	D変更点			
<u> 1</u>	首初 予 算	額の推移			25, 708	16, 770										
2 月	現 計 予	算額の推移			16, 723					↑開拓員を大阪に €人件費を部局で						
	決 算 額	の推移							77-34	,, ,,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
[成果指標等	の推移]	3]														
	区															
成果指標		分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年	度		目標・	指標の考え方・積	算根拠			
	新ふくい人		(目標) 実績	(700)	(750)	2年度 (800)	3年度 (900)		000) ふく		 少対策戦略のKF		算根拠_			
活動指標	果指標 新ふくい人招致数 (目標) (700) (750) (800) (900) (1,000) ふくい創生・人口減少対策戦略のKPI 令和元年度の実績は12月末現在															

京都人材開拓事業

区分	———— 新規	経	費区分	政策	 的経費	要求	え基準			部局名	3	交流文化部	3	課名		住交流課		課長名	武音	『衛
事業主	体	県								自 治 事	Щ.			実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	方法	直営、	委託					事務区分				事業区分		補 助 金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	<u> </u>	_								法定受託事	事務			その他	年度	1	年			
福井県長期と		分 -i	野〔		ちづくり]	関連する	県の	計画等	(ふくい創生	・人口減	少対策戦闘	各)	
における位	旦刊()	政	策〔	人	が人を呼ぶ	5、移任•	定住新戦略		J				L							
[事業目的]																				
京都の関係人 女性をターゲット															を結成し	、「人が人を	・呼ぶ」(仕掛けを実行す	する。特に	若者、
[事業内容]																				
都市園 福井に 京都で (2)京都の利	オやUIタ- 圏に在住し EUIター: E住の移住:	ーンした ないした す 支援者 策の企画	也域貢献の 告者 2名 1名(※ 国、立案)ため活 「京都科	動する高 <i>:</i> 8住計画」	スキル人材 スタッフ)	2名	促進企画を	を展開	するためのヲ	<u>-</u>	を結成する	5.							
 [受益者] f	 云統工芸、	地場産	 業従事者							[想定され	.る受:	 益者数]								
前事業の有無		■ 無 □ 有 (実績)	事業	美名								D連携状況	ļ	・セミナー	等の P R	や講師選別	定等に県	県内市町と連 持	货	
[事業の評価]																				
		前年	度の実績					実績を踏	まえた	こ令和2年度	の変す	点								

京都人材開拓事業

区分	新規	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局名	፭	交流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	È体	県							自 治	事 矟			実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	直営、委	託				事 務区分				事業区分		補 助 金	開始	経過年数	ι	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_							法定受	託事務			その他	年度	1	年	度)		
区分	事	業費	国国	Į.	起	債	そ(の他		一 角	 股財源			国	庫、その他	財源の	2名称等		
予算額		3, 119		1, 559							1 560) 	方創生推進	交付全					
 [予算額の推	 移等]	0, 110		1, 000	<u>' </u>						1, 000	, , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , </u>		<u> </u>		-		(単位:	千 円)
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2 年度							実績等を	踏まえた	2 年度の	変更点		(+12.	113/
当	当初予算	額の推	 移			3, 119													
		算額の				-													
		の推移	- IS																
	八 升 氓	07 JE 19																	
前年度ま 主な増減																			
<u> </u>	~																		
	1//																		
[成果指標等				1									_ :-		- 1 - 4	- 1= 11-			
	区	分		30年度	令和元年度		3年度	4年	手度				目標・	指標の考	え方・積算	[根拠			
人 成果指標	│ 京都からの	D移住者数	(目標)			(70)	(70)		(70)	新ふくし	ハ人のうち京	都か	らのUIター	ン者数					
			実績																
】 活動指標	 セミナー参	参加者数	(目標)			(100)	(100)		(100)	京都で属	開催するセミ	・ナー	-等への参加	者数					
, a = 10 f a 111			実績																
												•							
												┖		業名					
									月月 2日	ま車 娄 の)有無・	(役	(割分担)						
他県の	状況									2. 受割分 役割分									

「新しい働き方・暮らし方」推進事業

区分新	経費区分 政策的経費 要求基準		部局名	交流文化部	課名	定住交流課	課長名	武部衛
事業主体	県	= 747	■ 自治事	務	■実行予算	事業 R2 年度	事業終了	
事業実施方法	委託、直営	事務		事業 区分	■ 補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R5 年)
補助率	補助率 1/2] 法定受託		口 その他	年度 1 年	度)	
福井県長期ビジョン	分 野 〔 まちづくり)	即油十2	ら県の計画等	「 こノい創圧	人口減少対策戦略		1
における位置付け	政 策 〔 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略	j	対定する) 木の司 四寸	し、かくい創工	・ハロッツツス製品		J

[事業目的]

県への転入者を増加していくためには、Uターンに加えてIターンを拡大していくことが重要である。このためには、地域と深い関わりをもつ「関係人口」の拡大や、Iターン者の「仕事」・ 「住まい」・「定着支援」を一貫してサポートする必要があるため、市町や地域団体と連携して、地域に滞在しながら関わりをもつ「微住」を推進する「微住応援パック」を開発する。 また、市町や企業・業界団体等と連携して、地域の人材ニーズに応じた「仕事」を掘り起こすとともに、地域の特色や資源を活かした定着支援を提供する「移住応援パック」を開発し、関係人口 の拡大および移住定住を促進する。

[事業内容]

- (1)移住・定住・関係人口の拡大
 - ①移住応援パック

「しごと」×「住まい」×「定着支援」をセットとした「移住応援パック」の開発・推進する。

②微住応援パック

「しごと」×「宿泊」×「滞在支援」をセットにした「微住応援パック」の開発・推進する。

(2) 研修会の実施

県内企業や地域団体を対象とした研修会を開催し、上記の応援パック作成を支援する。 (嶺北1回、嶺南1回)

(3) 営業ツール開発

優良な事例を他地域に波及させ、受け入れ体制充実化を図るために、事例報告会を開催する。(県内1回) 各種応援パックをPRするリーフレット(カタログ)を作成、Uターンセンター等で配布する。

[受益者]		[想定される受益者数]	
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	市町との連携状況	・各種応援パック作成を連携して支援 ・市町補助(微住応援パック)
「車業の証無」		_	

[事業の評価] 実績を踏まえた令和2年度の変更点

「新しい働き方・暮らし方」推進事業

区分	新規	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局	名	交流	文化部		課名		定 [·]	住交流課		課長名	武部	了衛
事業:	主体	県					± 25		自 治	事		- 1114		実行予算	事	業	R2	年度			
事業実施	施方法	委託、直	営				事 務 区 分				事	¥ 業 分		補助金	開	始	経過年数	t	予定年度 (見直し年	R5	年度
補助	率	補助率	1/2					□ <i>;</i>	法定受	き託事		- 73		その化	鱼		1	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ī	起 ⁴	債	₹ <i>0</i>	の他		_	-般財源					国国	≢、そのイ	也財源の	D名称等		
予算額																					
了昇祖 		21, 051		10, 525								10, 526	t	地方創生交	付金						
[予算額の推	推移等]	,	•	,	'	•			"											(単位:	千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2年度								実績等	を踏ま	えた	2年度の	変更点			
È	当初予算	額の推	移			21, 051															
2 5	月 現 計 予	算額の	推移																		
	決 算 額	の推移	D 推 移																		
前年度3 主な増減 [成果指標等	減理由	集算額の推移の由(本移)																			
	区			30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年	度						· 指標(の考え		 算根拠			
			 (目標)	(700)	(750)	(800)	(900)		000)	<u> </u>	、		://> †	対策戦略の							
成果指標	新ふくい人	、招致数	実績	719		(222)	(3.3.3)	. ,						司東戦略の 目末現在	XF I						
						(30)	(40)		(50)												
活動指標	リピーター	−数	実績			, ,	, ,														
他県の)状況		△ 18						関:	連事業 役割	の有無 分担		(1			と福ま			幾構運営事業 は体制整備と情	青報発信	

「産地合説」開催事業

区分	新規	経費区	分	政策的経費	要求基	.準			部局名		交流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武部	17衛
事業主	体	県					± 75		自 治 事	務			実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	方法	委託					事 務区分			I	事 業 区 分	╻	補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	<u>z</u>	_					E 71		法定受託	事 務	<u> </u>		その他	年度	1	年	度)		
福井県長期と			野 〔 策 〔	まちづくり 人が人を呼	ぶ、移住・定任	住新戦略)	関連する	い見の	計画等	(ふくい創生	・人口減	少対策戦略	ζ)	
[事業目的]									ı			_							
伝統工芸や 人・技術者や					若者を対象し 地で働き生活										や工房等	の見り	学や仕事の	体験、(3職
[事業内容]																			
	Jア 域に集積し		(眼鏡、	漆塗、製紙、	打ち刃物など)													
(2)若狭工! 料理人、		を活用した。	6 次産業	美化に必要な人	.材、産地の魅:	力を発信	するデザイ	(ナー	や写真家が	ょど									
	都市圏 ・職場見学 企業、 ・職人等と	・体験実習 職場、工房 ^領 の交流会	人やワー 等を巡る		、学生・社会. ・、実際に作業: を開催する。														
[受益者] (伝統工芸、	地場産業従	事者						[想定され	る受	益者数]								
前事業の有無		■ 無 □ 有 (実績)	事業名	名					市	町との	の連携状況	ļ	・地場産業	の市町と	集客や実業	於 選定	€などで連携↓	_ン 事業を	実施す
[事業の評価]																			
		前年度の)実績				実績を踏	まえた	全 令和2年度	の変す	更点								

「産地合説」開催事業

区分	新規	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局	高名	交流文化部	ß	課名	定	住交流課	課長名	武部	了衛
事業主	E体	県							自治	台事			実行予算	事業	R2 年度			
事業実施	拉方法	委託					事務区分				事業区分		補 助 金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_					<u> </u>		法定	受託事			その他	年度	1 年			
区分	事	 業費	国原	Į.	起	債	そ(の他		_	般財源			国	・ 車、その他財源	の名称等		
予算額		2, 251		1, 125							1, 126	i 地	也方創生推進	交付金				
[予算額の推	移等]																(単位:	千円)
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2 年度							実績等を	と踏まえた	: 2 年度の変更点	Ā		
当	前初 予 算	額の推	移			2, 251												
2 月	現計 予	算額の	 推 移															
	決 算 額	の推移																
前年度ま 主な増減	越理由																	
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2 年度	3年度	4 :	年度				目標・	指標の考	え方・積算根拠			
成果指標	学生『ター	ン者数	(目標) 実績			(700)	(750)		(800)	学生Ⅰ台	ターン者数目	標:	令和5年度8	50名				
活動指標	産地合説~	への参加者勢	枚 ^(目標) 実績			(50)	(50)		(50)	目標:	丹南エリア	30人	、若狭エリ	ア 20人				
他県の	状況								B	関連事業(役割:			無 有 事 役割分担)	≨業名				

「いいね!地方の暮らしフェア」実施事業

補助率 一 一 上	区分	継続	ń	経費区分	,	政策的経費	要	求基準			部	局名		交流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武音	祁 衛
事業実施方法 委託、直営 事務区分 口補助金 開始日本度 経過年数 では見直し年日の計画等 R4 福井県長期ビジョン 分野 (まちづくり) コまちづくり 日本の計画等 「ふくい創生・人口減少対策戦略」	事業主体	*	県						± 24		自	治 事	務	± **		実行予算	事業	元	年度			
補助率 一 福井県長期ビジョン 分野 まちづくり 引力 関連する県の計画等 「ふくい創生・人口減少対策戦略	事業実施力	方法	委託	、直営												補 助 金	開始	経過年数	ζ		R4	年度
関連する県の計画等 「ふくい創生・人口減少対策戦略	補助率		_						7		法 定	受託	事 務	2 %		その他	年度	2	年			
│ における位置付け │ 政 策 〔 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略 〕 │ 関連する宗の計画寺 │ いってい間エ・ベロ減少対策報略			分	野	[まちづくり]	F	明油士	ス旧の	い計画生	r	ことい創生	. l口油	小分类能量	久		ז	
	における位置	置付け	政	策	[人が人を呼ぶ	ぶ、移住	• 定住新戦略)	l	利廷 り	ᢀᡵᢆᢆ	が回す	Ľ	ふくい問エ	- 人口顺	ツ 刈 束 戦 🖷	Ħ		ر	

[事業目的]

福井の魅力を積極的にPRし、社会人等のUターンやIターンを更に促進するため、「日本創生ための将来世代応援知事同盟」(福井県ほか岩手県・宮城県・福島県・茨城県・長野県・山梨県・三重県・滋賀県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・高知県・宮崎県が加盟)が主催する「いいね!地方の暮らしフェア」に出展する。

[事業内容]

「いいね!地方の暮らしフェア」実施

「日本創生ための将来世代応援知事同盟」(福井県ほか岩手県・宮城県・福島県・茨城県・長野県・山梨県・三重県・滋賀県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・ 山口県・

徳島県・高知県・宮崎県が加盟)が主催する「いいね!地方の暮らしフェア」に出展する。

主な内容

- 〇各県知事による地方暮らしの魅力発信プレゼンテーション
- ○著名人等による地方の暮らしやすさや子育て環境の良さの情報発信
- 〇各県PRブース(移住相談・特産品販売・ワークショップ等)

[受益者]		[想定される受益者数]	
前事業の有無・実績	 □無 ■有事業名 ふるさと福井移住定住推進機構運営事業 (実績) ふるさと回帰フェア東京 19,791名 大阪 3,259名 	市町との連携状況	・市町を通じてフェア参加者を募集
		•	<u> </u>

[事業の評価]

* +	**************************************
前年度の実績	実績を踏まえた令和2年度の変更点

「いいね!地方の暮らしフェア」実施事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局名	交	流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武音	『衛
事業主	主体	県							自 治	事 務		•	■ 実行予算	事業	元	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	委託、直	営				事務区分				事業区分	╻	〕補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_						□ <i>i</i>	去定受言				こその他	年度	2	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ī	起	債	そ(の他		一般財	源			国	庫、その他	財源の)名称等		
予算額		3, 319		1, 659							1, 660) t	地方創生推進	交付金					
[予算額の推	- 移等]	-,	1	.,	'				l		•							(単位:	千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度							実績等る	を踏まえた	2 年度の	変更点			
<u> </u>	首初 予 算	額の推	移		3, 315	3, 319													
2 月	現 計 予	算額の	推移		3, 315														
	決 算 額	の推移					1												
前年度ま 主な増減 上 に成果指標等	或理由																		
Elizable de la constantina de	区	分		30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	4年	度					指標の考	え方・積算	 根拠			
成果指標	新ふくい人		 (目標) 実績	(700) 719	(750)	(800)	(900)	(1, (000)	介和元年度	の実績は	t12)							
活動指標			(目標) 実績																
他県の	状況	岩手県・	2方の暮らしフ 宮城県・福島 ・島根県・岡	;県・茨城県						事業の有類 役割分担	.	(1	役割分担)	事業名 はや移住に			住定住促進機 体制整備と情報		·業

理系就活支援事業

区分新規	経費区分 政策的経費 要求基準		部局名	交流文化部	課名	定住交流課	課長名	武部 衛
事業主体	県	= 747	自 治 事	務	■ 実行予算	事業 R2 年度	事業終了	
事業実施方法	委託、補助	事務		事業 区分	■ 補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R4 年
補助率	定額 上限1,000千円		法定受託事	事務	□ その他	^{年度} 1 年	度)	
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 〔 まちづくり 政 策 〔 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略]	関連する	県の計画等	〔 ふくい創生	・人口減少対策戦略)
[事業目的]								

理系学生を対象に、県内企業の魅力に触れる機会を提供し、県内定着やUIターン就職を促進する。

[事業内容]

- (1) 理系学生就職ロードマップ作成
 - 主に県内の大学・学部を中心に、県内企業への就職実績や先輩社員の活躍の様子をまとめた冊子を作成する。
- (2)業界研究会の開催
 - 外部講師を招いた業界研究会を開催し、ものづくり産業を中心に県内の優れた企業などを紹介する。
- (3)企業見学ツアーの開催
- 県内大学と連携し、理系学部の教員と学生を対象に、県内の優れた技術や製品を提供する企業を訪問するツアーを開催する。
- (4) 学生UIターン奨学金返還支援事業
 - (独) 日本学生支援機構等の奨学金を借りている県外大学等の卒業者が県内に就職した場合、その返還を支援することにより県内就職・定着の促進を図る。

[受益者] 理系学生、企業	業	[천	【定される受益者数】 学生	=1,500人
前事業の有無・実績			市町との連携状況	
[事業の評価]				
	*	ナオルルー・ハイー	- <u> </u>	1

[事業の評価] 前年度の実績 実績を踏まえた令和2年度の変更点

理系就活支援事業

区分	新規	経費	区分 政領	管的 経費	要求	基準	0		部局	名	交流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	主体	県							自 治	事			実行予算	事業	R2	年度			
事業実施	拖方法	委託、補	i助				事務区分				事業区分	•	補助金	開始	経過年数	Ż .	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	定額 上	.限1,000千円				- /		法定受	受託事			その他	年度	1	年	度)		
区分	事	業費	国师	車	起	債	そ(の他		-	般財源			国	庫、その他	也財源の	2名称等		
予算額		69, 705					(繰入) (寄)	1 2	4, 400 1, 000		34, 305	基金	金繰入金、	企業版ふ	るさと納和	兑			
[予算額の推	[移等]																	(単位:	千円)
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2年度							実績等?	を踏まえた	2年度の	変更点			
<u>≅</u>	当初予算	額の推	移			69, 705													
2 月	引現 計 予	算額の	推移																
	決 算 額	の推移					1												
前年度ま主な増減	咸理由																		
[成果指標等				0.04-	\ .		- -						D.1=	15.1E 0.7	- 1	÷ 1□ 1⊧υ			
	区	分			令和元年度		3 年度		作度 (000)				目標・	指標の考	え方・積算	早根拠			
成果指標	[ターン者	数	(目標)			(700)	(750)		(800)	令和5年	丰度目標850人								
			実績	590	708		(050)		(050)										
活動指標	各種説明会 加者、利用	会、補助金 <i>0</i> 月者数	D参 (目標) 実績			(250)	(250)		(250)	(2)	100人 (3)	100	(4)	50人					
他県の	状況								関	連事業(の有無・ 分担	■ # □ 7 (役割		事業名					

女性就活支援事業

区分	新規	経費図	区分	政策的経	費	要求基	基準			部局名		交流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	体	県						<u> </u>	•	自治	事 務		_	実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	方法	委託、直	営					事 務区分				事業区分		補 助 金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	<u> </u>	_								法定受訊	事務			その他	年度	1	年	度)		
福井県長期ピ			野〔	まちづ]	関連す	る県の	の計画等	ſ	ふくい創生	人口減	少対策戦闘	各			
における位	直付け	政	策 〔	人が人	を呼る	ぶ、移住・定	住新戦略)											
[事業目的]																				
十月のいた	- \ 	!>		- ┴ ≷ ⊞ ╬╬ (-	- I Ia a	·ITI. —	<u> _ 구 ╨ 4</u>	- + 44 <i>6</i> 11	- IE	目由人业。	` ф+ →	- 1 - みゃ - フ・	+0% 人	<i>+</i> += /4 ·	旧本点	1 *		、 <u>+</u> +	''+ 7	
本県のU5 	メーン率に	こついてる	ズ性の方	か男性は	-比^	へ低い中、	女十字3	上を対家!	- 、 5	R内企業(ノ胚フ	川〜触れる	機会	を提供し、	、県内疋	「右やし」	ダー	ン就職を促	進する。	
 [事業内容]																				
[争未内谷]																				
○就活女哥	子会の開係	¥																		
			上の交流	会等を開	昇催し	ノ、就職活	動のこと	や暮らし	し方、	働き方に	つい	て自由に	意見	交換を行	う。					
		1 (12)								p., 2, 5										
	京都3回	回(7月	内定者	亡3年生	ŧとσ	D懇談会、	11月	就職活動	動準備	備期、2月	就	間間 間間 	禁直	前)						
[受益者] ス	本県で就職	しようとす	 る女性学	学生						[想定さ	れる5	 受益者数]	4, 60	0人※県外の	の大学に述	進学した女	性1~4	 年生		
		■ 無																		
		□有	事業名	3																
		(実績)																		
前事業の有無	・実績	()(1)()									市町と	: の連携状況	!							
[
[事業の評価]		並左座 /	の中値					中値と欧	+ = +	· 人和 o 左 i	生の亦	: 声上								
		前年度の	り 美領					美 頼を始	まえた	た令和2年月	夏の変	. 史								
ĺ																				

女性就活支援事業

区分	新規	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局	名	交流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	上体	県							自 治	事			実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	委託、直	営				事 務区 分				事業区分		補 助 金	開始	┃ ┃経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_							法定受	· 託事			その他	年度	1	年	度)		
区分	事	業費	国国	Ē	起	債	そ(の他		_	般財源			国	- 車、その他	財源の	名称等		
予算額		1, 439		719							720								
[予算額の推	 移等]	1, 100	I	710	1						,20	1						(単位:	千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度							実績等を	と踏まえた	: 2 年度の	変更点		(4 4 .	113/
<u> </u>	首初 予 算	額の推	 移			1, 439													
2 月]現計予	算額の	 推 移																
	決 算 額	の推移																	
				l															
前年度ま 主な増減																			
工.9.月//	х-т ш																		
[成果指標等																			
	区	分		30年度	令和元年度	2年度	3年度		丰度				目標・	指標の考え	え方・積算	根拠			
成果指標	 Uターン律	子数	(目標)	(820)	(842)	(890)	(886)		(894)										
7777777777			実績	775	830														
活動指標	 イベント参	診加 者数	(目標)			(40)	(40)		(40)										
71 23 11 13			実績									_							
													無						
														業名	Uターン	推進事	業		
									BB \$	\ + + ** .	o + / m	(役	设割分担)						
他県の	状況								関注	理爭業(役割)	の有無・ 分担								

学生インターンシップ推進事業

区分 拡充	経	費区分	政策的経費	要求基準			部局名	交流文	て化部	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主体	県				市 改		自 治 事	務	₩-	実行予算	事業	元	年度	事業終了		
事業実施方法	委託				事 務区分			事	★ □	補助金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	_						法定受託事	務		その他	年度	2	年	度)		
福井県長期ビジョン	分	野 〔	まちづくり)	関連する	県の計画領	± [ふくい創生	: . 人口油	小分生能型	久		1	
における位置付け	政	策〔	人が人を呼ぶ	ぶ、移住・定住新戦略)	対圧する	ボツ前凹	1	ついく いら 日工	一八口顺	グ刈水製画	П		ر	

[事業目的]

経団連の「採用選考に関する指針」が廃止され、政府等により新たな就活ルールの策定が検討される中で、就職活動が開始される前に企業と学生が出会う場である インターンシップがより一層重要となっている。そのため、学生が、インターンシップを通じて就業意識を醸成するとともに、魅力的な県内企業を知る機会を提供す る。

[事業内容]

- (1) 福井県インターンシップ事業(短期・長期・長期有償) 2~3年生を対象に、夏休み期間(8~9月)に1週間~3週間程度のインターンシップを実施する。
- (2) 冬季インターンシップ事業 3年生を対象に、冬季(11~1月)に1日もしくは半日単位で、複数の企業へ参加できるインターンシップを実施する。
- (3) 1 day企業見学会 1~2年生を対象に、1日ごとに複数の企業へ参加できる企業見学会を実施する。
- (4) 県外学生の福井県インターンシップの参加を促進 県外大学でのインターンシップガイダンスの開催や、HP等による県外学生への広報により、県外学生の参加を促す。
- (5) Uターンセンターから電話による参加促進 県外の大学に進学した学生の保護者に対して、電話によりインターンシップ事業を説明し、県外学生の参加を促す。

[受益者] 対象学年と	なる学生、企業		[想	【定される受益者数】 学生	± 3,500人 企業250社
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)			市町との連携状況	
[事業の評価]					
	前年度の実績	実績を踏まえた	令和	2年度の変更点	

学生インターンシップ推進事業

区分	拡充	経費	区分 政策	헌的経費	要求	基準	0		部局	名	交流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主体		県							自 治	事系		•	実行予算	事業	元	年度			
事業実施方法		委託			事 務区分				事業区分		補助金	開始	┃ 経過年数	Ż.	予定年度 (見直し年	R4	年度		
補助率		_							法定受	泛託事 務			その他	年度	2	年	度)		
区分事		業費 国庫		Į.	起債		その他			— f	投財源			国	- 車、その他	也財源σ	2名称等		
予算額		14, 263		7, 131							7, 132	! 地:	方創生推進	交付金					
[予算額の推移等]																(単位:	千円)		
	区	分		30年度	令和元年度	2年度							実績等る	を踏まえた	2年度の	変更点			
当	首初 予 算	額の推	 移	13, 480	13, 497	15, 492													
2 月	現計 予	5 算額の推移 13,48			13, 497				・冬季インターンシップの実施										
	決 算 額	の推移		13, 231															
前年度ま主な増減	越理由																		
[成果指標等	:の推移」 区	分		20年前	令和元年度	0. 午 庄	った中	4年	· re				日播 -	た	ラナ ・	年 十日 十加			
	T					2年度	3年度		٥٥٥١						え方・積算	子仅拠			
成果指標	県内大学等 就職者数	等卒業者の児		(1, 350)		(1, 350)	(1, 350)	(1,		23~26年度の平均人数を上回る人数 12月末時点									
			実績	1, 434		(0.40)	(040)	,		/,//	- 1 MK								
活動指標	インターン 数					(640)	(640)		(640)	県内学生400人、県外			卜学生240人						
他県の			実績 - - 成22年度から - 成27年度から						関	連事業 <i>の</i> 役割分		■ : (役:		事業名					

Uターン推進事業

区分 継続	. 経費区分	政策的経費	要求基準			部局名	交流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主体 事業実施方法	県 委託、直営			事 務区分		自 治 事	務 事業 区分		実行予算補助金	事業 開始 年度	R2 経過年数	年度	事業終了 予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	_					法定受託事	務		その他	平皮	1	年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 政 策	〔 まちづくり 〔 人が人を呼ぶ	ぶ、移住・定住新戦略]]	関連する	県の計画等	(ふくい創生	・人口減	少対策戦略	i)	

[事業目的]

経団連の「採用選考に関する指針」が廃止され、都市部では採用活動が早期化している中、県外への進学者が県内企業の魅力に触れる機会を全学年トータルに提供し、Uターン就職を促進する。

[事業内容]

- (1) 学生と先輩社会人による交流会の開催
 - 県内企業の若手社会人との交流会を都市圏で開催し、県内企業に対する関心を高め、県内で働く魅力を感じてもらう。
- (2) 合同企業説明会等の開催
 - 就職活動が本格化する2~3月に、県内企業の特徴や採用情報等を知ることができる合同企業説明会等を都市圏で開催する。
- (3) 学内交流会等の開催
 - 就職支援協定校等の県外大学内において、県内就職事業等に関するセミナー、OB・OG交流会、Uターン相談会、採用担当者との交流会等を開催する。
- (4) 学生・企業相互のアプローチ支援
 - 県の就活情報サイト「働くなら、福井!」の利用促進や、県内企業情報の送付により、学生の情報収集および企業研究を支援する。
- (5) 県外就職者のUターン促進 県外進学者の動向を把握し、Uターン就職支援情報や各種イベント等の情報提供を継続的に行い、将来のUターンに結びつける。

[受益者] 本県で就	職しようとする学生	[杰	想定される受益者数] 1400	00人 ※R2年度~R5年度に就職する県内外大学進学学生
前事業の有無・実績	 □ 無 ■ 有 事業名 学生就職情報提供事業 他 (実績) H30参加学生 546人 内訳・就職総合イベント 縁 job 195人 ・業界・企業研究会 ふくいDAY 205人 ・学内行事 146人 		市町との連携状況	・情報共有
	·		· ·	

[事業の評価]

前年度の実績	実績を踏まえた令和2年度の変更点

Uターン推進事業

区分	継続	経費[2	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局名	交流文化部	課名	定	住交流課		課長名	武部	甮
事業主体						-L -L	•	自 治 事		■ 実行予算	事業	R2	年度	事業終了			
事業実施	拖方法	委託、直営					事務			事業区分	口補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率		_						法定受託事		口 その他	年度	1	年	度)			
区分	事	業費国庫			起 [.]	その他			一般財源		国原	車、その他	財源の	名称等			
予算額 13,003			6, 501						6, 502	 地方創生推進	交付金						
[予算額の推	移等]			-	•				·							(単位:	千円)
区 分				30年度	令和元年度	2 年度					実績等を	と踏まえた	2年度の変	变更点			
当	首初 予 算	額の推利	多			13, 003											
2 月	現 計 予	算額の技	 推 移														
	決 算 額	の推移															
前年度ま 主な増減 	过理由																
	区	分															
成果指標		/1		30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	4 年	度		目標・	指標の考え	え方・積算	根拠			
	Uターン ^図		(目標)	(31. 0) 31. 5	(32. 0) 32. 1	(35. 0)	(35. 0)	(3	5.0) 県外	進学生のUター		指標の考え	え方・積算	根拠			
活動指標	ロターン学	<u></u>		(31. 0)	(32. 0) 32. 1 (100)			(3	5. 0)	進学生のUター		指標の考え	え方・積算	根拠			

県内定着支援事業

区分 継続	経費区分	政策的経費	要求基準		部局名	交流文化部	課名	定任	住交流課		課長名	武部	衛
事業主体	県			± 7/7	Ⅰ 自 治 事	務	■ 実行予算	事業	R2		事業終了		
事業実施方法	委託			事務		事業	口補助金	開始	経過年数		予定年度 見直し年	R4	年度
補助率	_				法定受託	事務	□ その他	年度	1	年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 〔 政 策 〔	まちづくり人が人を呼	ぶ、移住・定住新戦略]	関連する	る県の計画等	〔 ふくい創:	生・人口減少	シ対策戦略 かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい)	
[事業目的]					•								
県内学生等の県内に	定着を推進する	ため、県内企	業の魅力に触れる	機会を全学年	ミトータルに	提供する。							
[事業内容]													
(2)合同企業説明: 就職活動が本 (3)サマー求人企 高校卒業予定:	手社会人との交 会の開催 格化する2〜3 業説明会の開催 者と県内の求人	流会を開催し 月に、県内企 ・企業が参加す	、県内企業に関心 業の特徴や採用情報 る企業説明会を開	報等を知るこ	とができる	合同企業説明	会等を開催す						
[受益者] 対象学年と		企業			想定され	ιる受益者数] 	学生3,500人	生徒(高校	生) 2,000	人 企業	600社		
	□ 無												
		業名 ふくい就活応	援・企業魅力発信事業 ふく	(い合同企業説明会	開催事業								
前事業の有無・実績	(実績) <ふるさと企業魁 学生682名、企業 <サマー求人企業 生徒1,859名、2	業276社 (H30)	フェア>		1	町との連携状況	_						
[事業の評価]													
[事業の評価]	前年度の実績			実績を踏まれ	た令和2年度	の変更点							

県内定着支援事業

区分	継続	経費	区分 政策	管的 経費	要求	基準	0	- 1	部局名	文流文化	部	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	主体	県							自 治 事			実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	委託					事 務区分			事業区分		補助金	開始	┃ ┃経過年数	t l	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_					区刀		法定受託			その他	年度	1	年	度)		
区分	事	業費	国	車	起 [·]	債	そ(の他		一般財源			国	車、その他	ὑ財源σ	2名称等		
予算額		8, 207		4, 103						4 1)4 t#	也方創生推進	·					
 [予算額の推	┴──── É移等]	0, 201		4, 100	I					1, 1	71 7						(単位:	千円)
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2 年度						実績等を	と踏まえた	: 2 年度の	変更点		<u>\+\\(\mu\).</u>	111/
<u> 1</u>	 á 初 予 算	額の推	 移		8, 058	8, 207												
2 月	 月 現 計 予	算額の	 推 移		8, 058													
		の推移																
前年度ま 主な増減																		
[成果指標等	[の推移]																	
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2年度	3 年度	4年	度			目標・	指標の考	え方・積算	算根拠			
成果指標		等卒業者の!	県内 (目標)	(1, 350)	(1, 350)	(1, 350)	(1, 350)	(1,		26年度の平均		上回る人数						
/X/X/10 /X	就職者数		実績	1, 434	1, 128				令和	1元年12月末時	点							
活動指標	 各種説明会	会の参加者数	(目標)		(2, 850)	(2, 850)	(2, 850)	(2,) 200人 (:		(8) 人0	2,000人					
7123117	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		実績		3, 813			L.,	令机	12年1月末時点								
												無						

I ターン就職推進事業

区分	新規	経費	区分	政策的経費	要求基準			部局名	3	交流文化部	ß	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主体	*	県						自 治 事	務			実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施力	法	委託、褚	補助			事務				事 業 区 分		補助金	開始	経過年数	τ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率		_						法定受託	事 務	E /J		その他	年度	1	年	度)		
福井県長期ビ		分	野〔	まちづくり)	関連する	く目の	計画生	r	ふくい創生		小分类影响	 久		٦	
における位置	置付け	政	策〔	人が人を呼	ぶ、移住・定住新戦	略)		かれい	川凹寺		ふくい 別当	八口/败	ツ 刈 界 戦 🖺	П			
[事業目的]																		
	法小士人	1.14	フょょ	1-14 IB W I	日本本 1 中華 2	·	. 7	124 + ÷	य ार -	ᄔᆎᆛᄀ	n+ #n	14 + 12	# + * 4	7 4 + 4	~ ∔ 04 ^ .		- 65	+ #□ ^
本県人口の					ロの流入、定着か ス	かり火でる	める。	人子を쑤	未した	小 傾り 句	吁别	は、疋任	元を次め	の人さん	人 機会	じめるため、	この時	労り
ボバテエに惟	171 - 407 1		ባንሀብር	134 人 倒 C かい)	ີ ໙ ∘													
[事業内容]																		
(1) 学内セ				w :-··		(E) I A 404					DD 27:							
			に、大	学内で、福井	で働くメリット、	県内企業(か魅力	りを説明す	るセ	ミナーを	開催	する。(県内企業	同行)				
(2)大学祭			ı- +	学祭に出作し	、福井で働くメリ	い ト た 幻 々	<u>ሱ</u> ታ	あわせて	旦 内。	企業レ目	从学	生の衣法	を図る	(固由名	2 業 同:	⁄亍)		
				子宗に山店し		ノロで作り	110 0	1017 E C .	ניו אל.	止木C尔	ノトゴー	工の文ル	വമം	עניוא.	上木川'	11/		
		-			"の企業の魅力が	伝わるイ:	ンター	ーンシップ	を企i	画し、開	催す	る。						
[111] + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	14×4-1+	. 7 !! !!	ملاد ۸					[##±-1	. 7	₩ + ₩ □ 1	336 (1	0.0001						
[受益者] 対			、企業					[想定され	しる労	益有数]	字生	2,000人						
		無	_															
]有	事業	美名														
前車業の左無		(実績)						-	шт Ь /	の連接件に	,							
前事業の有無	・夫領							ή.	西) と (の連携状況	C .	_						
 [事業の評価]																		
5 3. 214 22 H I IIM]		前年度	医の実績			実績を踏	まえた	こ 令和2年度	の変す	点								
		גוו נינו	してノベリス			人 景 に 町	3.767.		22	C/III								
1																		

I ターン就職推進事業

区分	新規	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局	名	交流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	主体	県							自 治	事務		■ 9	実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	委託、補	助				事務区分				事業区分	 □ 	甫助 金	開始	┃ ┃経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_							法定受	託事系		□ ₹	その他	年度	1	年	度)		
区分	事	業費	国国	車	起	債	そ(の他		— f				国	ェ 車、その他	b財源σ	2名称等		
予算額		3, 085		1, 542	,						1 543	地方	:創生推進	·					
 [予算額の推	└─── ŧ移等]	0, 000	1	1, 072	•						1, 040	/ / / / / /						(単位:	千円)
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2 年度							実績等を	と踏まえた	2 年度の	変更点		(+ <u> </u> -	1117
<u> 1</u>	————	額の推	 移			3, 085													
2 月	 引 現 計 予	算額の	 推 移																
		の推移																	
		· 12 12																	
前年度ま 主な増減																			
	<i>x</i> -11																		
	1// 1/- 3																		
[成果指標等														lla lee a du	- 1 -	- 1- 1-			
	区	分			令和元年度		3年度		年度				目標・	指標の考	え方・積算	根拠			
成果指標	Iターン者	数	(目標)	1		(700)	(750)		(800)	令和5年	■度目標850人								
			実績	590	708														
活動指標	│ │各種説明 <i>会</i>	会の参加者数	数 (目標)			(300)	(300)		(300)	(1) 1	150人 (2))100人	(3)	50人					
			実績																
												■無							
												□有		業名					
									胆二	連事業σ	7.右無。	(役割 	分担)						
他県の	状況								因人	役割分									

UIターン学生就活交通費応援事業

区分 継続	経費区分 政策的経費 要求基準		部局名	交流文化部	課名	定	住交流課	課長名	武部	衛
事業主体	福井県内へのUIターン就職を目指す学生	古 交	■ 自治事	務	実行予算	事業	元 年度	事業終了		
事業実施方法	補助	事務		□ 事 兼 □ ■	補 助 金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	県 定額		□ 法定受託事	事務 □ 7 □	その他	年度	2 年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野 〔 まちづくり)	関連する	県の計画等〔	ふくい創生	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	小分字能吹		1	
における位置付け	政 策 〔 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略	各)		赤び川凹寺 し	かくい問工	・ハロパ	ソハスポルロ		J	

[事業目的]

UIターンして就職を希望する県外学生と県内企業との早い段階からの接触機会の充実とともに、県外学生のUIターン就活に係る交通費を支援し、インターンシップの参加や県内での就職活動を応援する。

「事業内容]

- ・県外の学生に県内の就活行事等への参加を促すため、福井への移動に係る費用の一部を補助
 - 対 象:県内就職を希望する県外大学等在学者の全学年・県外に居住する第二新卒者(大学等卒業後3年まで)
 - 就活行事:県が主催・共催等を行うインターンシップ、業界・企業説明会、合同企業説明会、および、企業の採用面接等
 - 補助要件:県内で開催する就活行事への参加や県内企業で就職活動のうち、企業から出席の認定を受けているもの
 - 補助額:交通費 県別定額(3,000円~14,000円)×2回
 - ※1 対象を全学年と第二新卒者とし、就活行事にインターンシップと業界・企業説明会、企業の採用面接を新設した。
 - ※2 交通費補助は、都道府県別の定額とし、定額より少ない場合は、本人が支払いした額を上限として補助する。

[受益者] 福井県内	へのUIターン就職を目指す学生	[想定される受益者数] 814.	L .
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 Uターン学生就職活動応援事業 (実績) H31 利用者合計 11人 (Uターンバス 5人、補助金 6人)、利用率 34. H30 利用者合計 121人 (Uターンバス 55人、補助金 55人)、利用率 25. H29 利用者合計 79人 (Uターンバス 59人、補助金 20人)、利用率 18.	3%	・補助事業実施のPRを市町と連携して行う。
「車業の部体」			

[事業の評価]

E 1. No. of H i limit	
前年度の実績	実績を踏まえた令和2年度の変更点

UIターン学生就活交通費応援事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局	曷名	交	を流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	主体	福井県内	へのUIター	・ン就職を目	目指す学生				自 治	事	務	-t		実行予算	事業	元	年度			
事業実施		補助					事 務 区 分					事業区分	•	補助金	開始	経過年数	女	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	県 定額	į				- "		法定	受託事	務	_ //		その他	年度	2	年	度)		
区分	事	業費	国原	Ē	起·	債	その	か他		-	一般則	才源			国	庫、その何	也財源σ	2名称等		
予算額																				
了异码		12, 310										12, 310								
[予算額の推	[移等]	,																	(単位:	千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度								実績等を	と踏まえた	2 年度の	変更点			
<u></u>	首初 予 算	額の推	移		11, 854	12, 310														
2 月	引現 計 予	算額の	推 移		9, 366					・年度当	当初か	いら募集を	開始	4						
	決 算 額	の推移																		
前年度ま 主な増減 「成果指標等	或理由 ————————————————————————————————————																			
以不归标寸	区	分		30年度	令和元年度	2 年度	3年度	<u>4</u>	丰度					日煙・	指標の考	え方・結び	当根圳			
		71	(5.17)	(820)	(842)	(890)	(886)		(894)					口际	1日1示りつう	たり 竹貝	产化泛			
成果指標	Uターン者	首数	(目標)	775		(090)	(000)		(034)											
			実績	773	(814)	(1, 300)	(1, 300)	(1	, 300)											
活動指標	補助事業和	川用者数	(目標)		266	(1, 000)	(1, 000)	(1,	, 500)	令和2	年1月	末時点								
他県の	状況		<u>実績</u>	1					■ 無 □ 有 事業名 (役割分担) 関連事業の有無・ 役割分担											

保護者向け学生就職支援事業

区分	継続	経費	[区分	政策的経費	要求基準			部局名	 交流文化部	ß	課名		住交流課		課長名	武部	衛
事業主体		県					•	自 治 事	務	_	実行予算	事業	元	年度	事業終了		
事業実施ス	法	委託				事 務			事業区分		補 助 金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率		_						法定受託事			その他	年度	2	年	度)		
福井県長期ビ における位置		分 政	野 〔 策 〔	まちづくり 人が人を呼ぶ	ぶ、移住・定住新!	戦略)	関連する	県の計画等	(ふくい創生	・人口減	少対策戦闘	各)	
[事業目的]	_																
	の就職活	動につ	いて関心		スが決め手にな 聞を通じて県内								で、保証	養者が!	学生に適切	なアドノ	バイス
[事業内容]																	
	期:8~ 以区/5回	1 1 月 嶺 南地	見学企 区/1回	全業数:3社/ 回 丹 南地区/2	/回(計27社 2回 <u>奥</u> 越地区/												
①4月 ②9月 ③12 ④2~	~1月	イン低年	ターンシ 次の学生	/ップの経験 を Eを対象に、1	や大学の就職支 を活かした今後 と業を早めに知 よるプレゼン方	の就職活動の	の進め 要性を	の方を解説 を解説し、f	呆護者からプ	゚レィ	(ンターン:	シップ参	加を後担	₹L			音など
[受益者] 倪	護者、学生	Ē						[想定され	る受益者数]	300)人						
前事業の有無		■無]有 注実績)	事業名	名				市	町との連携状況	7	_						
[事業の評価]																	
		前年度	医の実績	_		実績を踏	まえた	た令和2年度(の変更点								

保護者向け学生就職支援事業

区分	継続	経費	区分 政策	헌的経費	要求	基準	0		部原	司名	交流文化部	ß	課名	定	住交流課	課長名	武部	衛
事業主	E体	県							自治	台 事		•	実行予算	事業	元 年原			
事業実施	方法	委託					事務区分				事業区分		補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	 率	_							法 定	受託事			その他	年度	2 年			
区分	事	 業費	国厂	車	起	債	そ(の他		_	般財源			国	- 車、その他財源	の名称等		
予算額		5, 739		2, 869							2, 870) 地	方創生推進	交付金				
[予算額の推	[移等]																(単位:	千円)
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2年度							実績等を	を踏まえた	: 2年度の変更が	<u>ب</u>		
当	前初 予 算	額の推	移		5, 628	5, 739												
2 月	現計 予	算額の	推 移		5, 628													
	決 算 額	の推移					-											
前年度ま 主な増減	越理由																	
ENANCIE IN 1	区	分		3 0 年度	令和元年度	2 年度	3年度	4 1	丰度				目標・	指標の考え	え方・積算根拠			
成果指標	T	 等卒業者のり	果内 (目標) 実績	(4.050)	(1, 350)	(1, 350)	(1, 350)		, 350)		毎度の平均人 年12月末時点							
活動指標	保護者、	学生の参加を	者数 ^(目標) 実績	(300) 276		(300)	(300)		(300)		20人×9回 年1月末時点	(2)	30人×4回					
他県の		熊本県	保護者・学校 年4回(保護 保護者対象 <i>0</i> 年5回(すべ	者2回、学 ^林)企業見学/	交関係者2回 バスツアー?)	一を開催		Į.									

企業×学生交流会開催事業(キャリアナビセンター)

区分	拡充	経	費区分	政策的経費	要求基準			部局名	3	交流文化部	3	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業三	主体							自 治 事	務			実行予算	事業	H30	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	委託				事 務区分				事業区分		補助金	開始	経過年数	ţ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_						法定受託	事 務	丘刀		その他	年度	3	年	度)		
福井県長期	ビジョン	分	野〔	まちづくり		•)	明本十二	7 旧 介:		,	5 / 1 / 全1 #			ı.₩		١	
における位	立置付け	政	策〔	人が人を呼ん	ぶ、移住・定住新戦略	ζ i)	関連する	る泉の	計画寺	'	ふくい創生	. * 人口测	少刈束戦	哈		J	
[事業目的]								•										
							_										_	
					スクエアに移転し								職総合窓	に口として	て引き	続き連営す	ることに	こよ
り、新規字 	'卒者の就験	英文援 み	ぶよひ字	生への就職の.	早期意識付けを行り	ハ、大字空	王寺(り県内企業	沉 職1	足進の拠	点と	する。						
[事業内容]																		
・新規学卒	者の就職を	を援、学 しょうしょう しょうしん しんしん しんしん かいかん かんしん かんしん かんしん しんしん しん	生への	就職の早期意	識付けを主に行う													
				学生による運														
〇新県内	企業が参加	ロする業	美界研究	会や企業説明	会の開催(通年)													
[受益者]	県内大学の	 学生						[想定され	1る受	 益者数]	1500	人						
		■ 無																
		■ 灬□ 有	事業	≝名														
		(実績)	ਤਾ ਕ	~1 1														
前事業の有	無・実績	(天限)						市	町との	の連携状況	<u>.</u>	_						
[事業の評価	<u> </u>							•										
		前年原	度の実績			実績を踏	まえた	こ令和2年度	の変更	点								

企業×学生交流会開催事業(キャリアナビセンター)

区分	拡充	経費	区分	政策	的経費	要求	基準	0		部局名		交流文化部	ß	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	主体	県						± 34	•	自治事	ቕ 務	+ **	•	実行予算	事業	H30	年度			
事業実施	拖方法	委託						事 務区分				事業区分		補助金	開始	経過年数	女	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_								法定受託	事 務			その他	年度	3	年	度)		
区分	事	業費		国庫	<u> </u>	起	債	そ	の他		一般	財源			国	車、その作	也財源0	D名称等		
予算額		1, 303	3									1, 303	3							
[予算額の推	移等]																		(単位:	千円)
	区	分			3 0 年度	令和元年度	2年度							実績等る	を踏まえた	2年度の	変更点			
<u> </u>	首初 予 算	額の推	移		826	826	1, 303		・県内企業が参加する業界研究会や企業説明会の開催(通年)											
2 月	現計予	算額の	推移		826	826			・県内企業が参加する業界研究会や企業説明会の開催(通年)											
	決 算 額	の推移			824			•												
前年度ま主な増減																				
[成果指標等					0.0左曲	∆ 50 = 5 €	0.左座	0.左曲	1.5	- -				口描	七冊の本	: 十 往	女 +D +M			
成果指標	来所者数	分		(目標)	(1,500) 1,581	令和元年度 (1,500) 972	2年度 (1,500)	3年度 (1,500)			和元年	1月末時点		日 保 •	指標の考	ዺ刀 ╹ 傾!	早低拠			
活動指標	経営者や労生との交流	た輩社会人 充会開催回	坐行	(目標) 実績	(25) 24	(25) 27	(25)	(25)		(25)										
他県の	状況	支援、企業 富山県 学生から4	業・求人 4 O 代前 等総合的	情報等 半の若 な相談	サイトの選者を対象に	c 石川」を選 重営等を行っ に「ヤングミ 文人情報等サ	っている。 ジョブとや	ま」を運営	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担) 「関連事業の有無・ 役割分担											

関西の学生グループによる福井応援事業

区分	新規	経費	費区分	政策	策的経費	Ì	要求	え基準			部局名	i	交流文化部	ß	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	体	県									自治		務	_	実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	方法	委託							事務区分				事業		補助金	開始	経過年数	Ţ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	<u> </u>	—————————————————————————————————————								法定受託事	託事剤	務		その他	年度	1	年	度)			
福井県長期ビジョン		分	野〔		まちづく	IJ)	関連・	する県	の計画等	r	ふくい創生	- 人口減	小対策戦略	左		<u> </u>	
における位	置付け	政	政 策 〔 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略					<u> </u>)	1212	7 0 7		L`		_ /\- //%	7 /1 /K TAIR					
[事業目的]																					
福井を応持	爰したいと	いう意	微を持	- つナ-	関西在	住の	県出身:	大学生の	ブループを	を組織	能化. 学	キネ、	ットワーク	を拡	大し、県	内企業や	組光地 、	特産	品などの情	報発信 算	≨を実
施する。学生																	1,000	137	HH 0. C 0. III	י בוטלאו	
「声类力索」																					
[事業内容]																					
 ・学生グル-	- プの活動	寸接																			
〇県内企業)発信																		
〇学生記	当が県内 企	業・県	具内にお	ける	働き方	を取	材し、	冊子を作り	成する。												
[受益者]!	果内大学の										[想定:	される	受益者数]	1500	人						
		無																			
] 有	事美	集名							<u> </u>										
 前事業の有無		(実績)										击町	との連携状況	, l							
刑事未の行業	大限											וןוווון	この建物仏が	c -	_						
[事業の評価]																					
		前年周	度の実績						実績を踏	実績を踏まえた令和2年度の変更点											

関西の学生グループによる福井応援事業

区分	新規	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	0		部局	高名	交流文化部	ß	課名	定	住交流課		課長名	武部	衛
事業主	E体	県						•	自治	台事			実行予算	事業	R2	年度			
事業実施方法		委託					事 務区分				事業区分		補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_							法定	受託事			その他	年度	1	年	度)		
区分	事	工 業費	費国庫			債	その他			_	般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	予算額 1,162									1, 162									
[予算額の推移等]														(単位:	千円)				
	区	分		30年度	令和元年度 2年度								実績等を	と踏まえた	: 2 年度の変	変更点			
当	i初予算	額の推	移			1, 162													
2 月	現計予	算額の	推移																
決 算 額 の 推 移							-												
前年度ま 主な増減 - - - - - - - - - - - - - - - - - -	找理由																		
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度	3年度	4 1	年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	成果指標 新ふくい人招致数 (E		(目標) 実績	(700) 719		(800)	(900) (1,000				ふくい創生・人口減少対策戦略のKPI 令和元年度の実績は12月末現在								
活動指標			(目標) 実績																
他県の	状況								Ŗ	関連事業 役割:		0	無有 項	事業名					